

青陵



岡山県立倉敷青陵高等学校
同窓会

ごあいさつ



同窓会副会長 井上 善 弘 (21期)

青陵同窓会会員の皆様、ますますご健勝のことと存じます。私は21期生の井上と申します。若輩者ながら副会長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

さて、「同窓会だより」は昨年に引き続き全員配布となり、より皆様方の間に交流の輪が生まれることと思います。

本年度、初めて近畿青陵会にお邪魔させていただきました。近畿地区の卒業生の皆様が一堂に集まり、年代も異なり仕事も異なる方々が青陵高校という一つの思い出のもと、和気あいあいと過ごしている会というのは大変素晴らしいことだと思いました。また、東京には東京青陵会が、九州には九州青陵会があり、毎年にぎやかに開催されていることもお聞きし、ぜひ参加してみたいと思います。

私も青陵高校に在学中は青春を謳歌し、良いこと、悪いこと、いろいろな思い出が浮かんできます。一番の思い出は生徒会長をしている時に開催した青陵祭の成功です。先生方に変なご迷惑をお掛けしたにも関わらず、にこにこ対応していただいたことを今でも鮮明に思い出します。あれから四十数年たち、私もはや還暦を迎え良い思い出となっております。

ただ、残念なことは青陵高校の伝統である「陵歌」が今歌われていないという寂しさです。2年生の時に陵歌の会が結成され、毎日のように皆で練習し青陵祭で発表した思い出は大変懐かしく、今でも陵歌生の付き合いは続いています。ぜひ青陵高校に陵歌を復活させてほしいと思います。

私は今、副会長という大役をいただき、少しでも母校に恩返しできればと思いますのでよろしくお願いいたします。



校長 中山 弘 輝 (同窓会名誉会長)

同窓生の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の諸活動に対しましてご理解とご協力をいただき心からお礼申し上げます。

さて、現在青陵高校には広い地域から、本校で学びたいと素質に富む多くの生徒が集まっています。それに応えるため、大規模改造工事に伴う施設・設備の充実、新設図書館を利用した読書環境づくりの促進、授業内容や指導方法の工夫改善に努めるなどハイクオリティな教育環境づくりを進めてまいりました。そして、平成21年度に始まりました校舎の耐震工事も本年度の理科棟工事で全て完了となり、安全・安心な学習環境が整うこととなります。

そのような充実した学習環境の中で、生徒たちは本校の伝統である「自主と責任」「文武不岐」の精神を柱とし、勉強に部活動に一生懸命取り組んでいます。その成果は近年の進学実績や部活動の実績にも現れています。平成24年度の大学入試の結果については、本紙11面にありますように県内有数の実績を挙げ、青陵高校の存在感を示すものとなっています。また部活動においても、男子バスケットボール部が3年ぶり

に全国大会への出場を果たし、水泳部、棋道部、美術部、放送部なども全国大会へ出場する活躍をしています。

現在同窓会の事業として、10年ぶりに同窓会名簿を発行するよう準備が進められています。名簿編集にご協力いただいています関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、この名簿が会員の皆様にとって心の絆となり、旧交を温める縁となることを願っております。そして、学校と同窓の皆さんとが年代を超えてつながっていくことは、学校が地域から信頼され次世代の若者を育てていくためには欠かすことができません。同窓生の皆様には、今後とも母校へのご声援とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、ごあいさつといたします。

表紙の写真説明

写真上は青陵高校校門／写真下④は新築の図書館外観／同⑥は図書館内部。設備一式は、「岡山県立倉敷青陵高等学校創立100周年記念事業」の一環として、同窓生の募金により寄贈した

笹沖 赤松眼科医院

院長 赤松 義之 (11期)

〒710-0834 倉敷市笹沖390 TEL(086)426-7547
笹沖メディカルビル1F FAX(086)426-7132

松本眼科医院

松本 泰明 (41期)

倉敷市美和2丁目9-13

倉敷名物
むらすの
ひとつひとつ真心こめたる名刺、
「倉敷名物むらすの」を
お土産にどうぞ。

本号 倉敷市美和 二丁目九番九号
TEL 086-426-7547
FAX 086-426-7132
http://mikkodo.com/

吉本 豪之(15期)
吉本 耕三(19期)

【むらすの】は播磨堂の登録商標です。類似商標にご注意下さい。

本部だより

同窓会本部総会

(平成24年8月5日、倉敷アイビースクエア)

ベリーダンスで最高潮に

21期 井上善弘 (同窓会副会長)

ベリーダンスで盛り上がった同窓会
本部総会 倉敷アイビースクエア



今年も青陵同窓会本部総会が盛大に開催されました。恩師の河田義正先生、鴨川恵美子先生、永井裕先生、仁科喜代蔵先生、渡辺展章先生を含め280人という大勢の参加者がありました。

私たち21期生も5年ごとに同窓会を開いておりますが、今回は60歳の還暦を過ぎたこともあり、ミニ同窓会という形で本部総会に多数参加させていただきました。9面掲載の同期生の金光さんの生け花、澤田君の「同窓会だより」の表紙にあります「青陵」の文字は、大変素晴らしいと思います。私たちも卒業して四十数年たち、青陵を思い懐かしむ年になったと感じます。

また、今回は52期生の小山麻衣子さん他2人の方々の中東の伝統的な舞踊、ベリーダンスで色を添えていただき、いつもも増して盛り上がったと思います。最後に恒例の校歌斉唱をし、高校時代を懐かしみ閉会となりました。

毎年開催される同窓会総会はだんだんと世代交代が進み、若い方々の参加が増えてきました。これからもさらに同窓会が盛大に開催されることを願っています。

ご多用中にも関わらずご出席いただいた恩師の先生、来賓の方々には関係者一同より心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

司会者で～す

無難に総会盛り上げ

31期 妹尾美穂子 (旧姓 小郷)

今年、私たちの31期が本部総会の当番幹事だったんですよ。それでね、31期の理事(幹事)に引っぱり出されたんです。「司会の仕事してるんなら頼むよ。ノーギャラで悪いけど」とね。まあ、断る理由もないんで喜んでお引き受けしました。

議長がさばく総会議事を除き、開会の前振り(コメント)から校歌斉唱、閉会の言葉までを担当しました。総会出席は2度目でしたが、雰囲気は今回も良かったと思います。

まずベリーダンス。懇親会の余興で52期の小山さんのグループ数人に出演してもらいました。リオのカーニバルのような派手な民族衣装の激しい踊りが、特に男性方に受けたようです。目のやり場が多かったんじゃないですか? これで一気に盛り上がりましたね。

9月に倉敷公民館で開催を予定していた6期の絵画展の代表者の方にインタビューしました。「60の手習い」とおっしゃってました。6期といえば70代後半の大先輩。私なんか、もっともっと頑張らないと一と思いました。同窓会の醍醐味って、こういう貴重な刺激を受けることですよ。



ついでに、頑張っている一端をPRさせてください。中心は結婚式やイベント、式典などの司会、アナウンサーです。土曜・日曜に岡山、倉敷、津山、さらに県外へも出かけます。

もうひとつ。15年前、趣味で声楽を始めたんですが、今は女声コーラスグループを主宰しています。大学生や主婦ら25人が週1、2回練習します。一昨年、福島の全国大会に出場したんですよ。昨年は大震災に遭った福島のために慈善コンサートを開いたところ、多くの方においでいただき感激しました。

ソロコンサートも年1回、岡山、倉敷あたりで開きます。あまり硬くならないように唱歌からオペラまで幅広く歌います。ぜひ聴きに来てくださーい。

高校時代はおとなしく目立たなかったんですよ、いや、ホントに。同級生がね「あんたがねえ、司会や歌とは…」と落差にびっくりしてました。

□…一男一女は大学生。岡山市在住。

支部だより

東京青陵会

(平成24年6月16日、東京・明治記念館)

関東に蛮カラ陵歌響く

35期 八木勝彦



約100人が集い、
陵歌も登場した
東京青陵会総会

名古屋から北海道に在住の青陵高校OBの方々を対象とした会員数は現在約1,600人に達しています。今年も年1回の貴重な総会に約100人の会員と、ご来賓として倉敷から加川同窓会長、徳田副会長、青陵高校から中山校長、船越先生、さらに35期生を中心に当時ご指導いただいた坪井克己先生、川上充雄先生、若山達八先生、倉敷市東京事務所から三宅靖広所長(30期)をお迎えして和やかな雰囲気が始まりました。

昨年発生した東日本大震災から1年が経過する中、今なお不自由な生活を送られている皆様もいらっしゃるの思いを持ちながらも、年に一度卒業生が集う総会の場において「倉敷という街」、「母校である青陵高校」を少しでも懐かしんでいただけるよう、我々なりに工夫をして今年の総会を企画しました。

一つ目は「倉敷風景DVDのご紹介」です。船越先生所有の倉敷の街並み、学校周辺の様子を収めた写真をお借りして、我々が音楽を付けオープニングで紹介させていただきました。倉敷の雰囲気を少しでも感じて総会に参加していただきたいの思いからです。

二つ目は30年前と現在の青陵高校を映像で比較しつつ、我々35期が過ごした当時を振り返り、恩師の先生方にご挨拶をいただきました。お元気な先生方のお顔を拝見し懐かしさを感じる中、若山先生には期待どおり尺八演奏で青陵応援歌を披露していただきました。また、中山校長からは、スライド写真を活用して現在の青陵高校と在校生の皆さんの学園生活をご紹介いただきました。勉強合宿や盛んなクラブ活動、「週刊ダイヤモンド」に掲載された高い進学実績等、我々は昔の生徒で良かったと妙にほっとしながら拝見しました。参加の皆様からも「現在の学校の様子が触れることができよかった」と大変好評でした。

三つ目は「陵歌を懐かしむ」コーナーです。今年の一つの目玉企画です。計画の段階で先輩方に相談、25期の皆様を中心に力強いご支援をいただきました。「5期生寄贈 桜花爛漫」「25期生寄贈 我礎に為らんとす」。陵歌DVDを上映後、25期元応援団長 武本さんの太鼓の合図と共に壇上に参集いただいた元陵歌生十数人から陵歌を披露していただきました。在学時代に陵歌に縁のなかったことを少々後悔しつつ、引き締まった雰囲気の中、実直な当時の高校生に思いを馳せながら聞き入ってしまいました。その後の校歌斉唱も当時の演奏テープを使用して武本さんの演舞の下、全員で合唱しました。皆さんの気持ちが自然にひとつにまとまっていく様子が何とも素晴らしく感じられました。

開始からの2時間はあっという間に過ぎ、約10カ月にわたる準備期間も終わってみると昔の出来事のように思われました。皆様楽しんでいただき、「参加して楽しかった」「皆さんとお会いして良かった」「来年もまたぜひ参加してみたい」…。そのような和やかな会にできればと、いろいろ考えながら手探りでスタートした総会でした。

当日残念ながら都合により欠席されました会員の皆様からとても丁寧な連絡をいただきました。総会に参加することで、「新しい出会いがあり」「ご縁が生まれ」「交友が広がっていく」…。難しい世の中になりましたが、どこかでほっとできる「場」のひとつに青陵会を活用していただければと願っております。

東京青陵会発足時の思い出

2期 長岡克枝(旧姓露無)



東京青陵会は、初めは倉女の東京同窓会として行われていました。昭和52年に会長の住田篤枝さんから、「青陵卒の方にバトンタッチしたい」との連絡をいただいて、1期の野田(旧姓 土倉)好子さんと私が住田さんから書類一式を譲り受けました。

そして53年5月に新宿駅ビルのプチモンドで行われたのが東京青陵会第1回の同窓会でした。1期女子が幹事で35人の集まりでした。

翌54年は2期が当番幹事で、砂漠会(1期～3期の富井校舎で学んだ男子の会)と連絡をとり、富井校舎と美和校舎の男女が協力して5月、日比谷公園の松本楼で第2回の同窓会が六十余人の参加で行われました。

第3回からは、会長を1期の田辺穂英さん、副会長も1期の野田好子さん、事務局を7期の大山卓良さんの公認会計士事務所において少しずつ形が整っていきました。

その後、8期の料治宏尚さんの商業システム研究所で名簿の管理を長い間やっていただきました。

母校青陵高校を愛する気持ちに支えられて、東京青陵会の今があるのだと思っています。かけがえのない青春時代を青陵で過ごしたこと、青陵高校の同窓生であることに幸せを感じています。

東京で活躍する同窓生

東京青陵会では、毎年6月ごろに総会を開催しています。大学生から昭和ひとけた生まれの先輩まで100人以上が集まり、親睦を深めています。倉敷の思い出話、仕事の相談、就職アドバイスなど有意義な時間を過ごすことができます。ぜひ総会にご参加ください。ここに首都東京で活躍している同窓生を紹介します。

東京青陵会 会長 関藤 佳範 (25期)

大山公認会計士事務所

公認会計士 税理士 大山 卓良 (7期)

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目3番1号 第2小田ビル9階
電話 (03)3574-6944 FAX (03)3573-1841
E-mail : oyama-cpa@trust.ocn.ne.jp

(財)日本手工芸指導協会 講師
アートステンシル協会 本部講師
筒描染ステンシル普及協会 主宰

長岡 克枝 (2期)

旧姓：露無
〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前2-3-1-312
TEL&FAX 047(358)2424



経営システム研究所

代表取締役 所長 料治 宏尚 (8期)

〒140-0011 東京都品川区東大井5-6-13 CCビル
TEL 03-5782-7111 FAX 03-5460-1826
E-mail : head-q@ccsystem.co.jp

小川 琴恵 (8期)

旧姓：加門

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 5-1-4
電話 03-3701-4044



代表取締役 井上 木太郎 (21期)

ライジング・ゴルフ・マネジメント株式会社
ゴルフコース 茨城県常陸大宮市霧子1178番地1
〒319-2803 TEL 0295-31-0161 FAX 0295-58-3158
本社 東京都千代田区平河町1丁目4番3号
〒102-0093 TEL 03-3234-2720 FAX 03-3238-2332
URL http://www.rising-golf.jp
E-mail: b-moue@rising-golf.jp

法人設立・譲渡・相続税の申告相談
梶谷 孝行 税理士事務所

税理士 梶谷 孝行 (21期)

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-18
コートウイステリア301号
TEL 03-3364-2411 FAX 03-3364-2410

北田 和江 (22期)

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-1-22-102
TEL : 03-3779-1812

23期 有志

大河 量人 〒164-0001 東京都中野区中野3-30-12-907

小川 和夫 〒331-0813 さいたま市北区榎竹町1-60-1-304

坂本 泰宏 〒177-0053 東京都練馬区関町南2-17-29



〒150-0044 渋谷区円山町25-7 PHONE/03-5458-5566
E-mail : melrose@aioros.ocn.ne.jp
寺山 一己 (23期)

NHK解説主幹
日本科学技術ジャーナリスト会議理事

室山 哲也 (23期)

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1NHK解説委員室
ブログ: <http://muroyamatsuya.cocolog-nifty.com/blog/>



代表取締役 河田 宏造 (23期)

東京千代田区内神田3丁目6番2号 TEL(03)5207-8484
アーバンネット神田ビル6F 〒101-0047 FAX(03)5294-2313
E-mail : k-kawada@steel-center.co.jp
URL : <http://www.steel-center.co.jp>

長大橋、動的解析、補修/補強設計サポート
株式会社 構造総研

代表取締役 工学修士 小郷 政弘 (23期)

東京本社 東京都練馬区光が丘 3-9-2-209
〒179-0072 TEL/FAX 03-6904-3470
E-mail : kouzou3@theia.ocn.ne.jp

ばいぶん社

共同代表 中村 弘 (29期)

<http://baibunsa.net/>

株式会社 JVCケンウッド

中村 弘 (29期)

〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
TEL 045-939-7038 FAX 045-939-7096
E-mail: nakamura.hiroshi@jvckenwood.com

株式会社 タイパック

取締役 河崎 孝夫 (30期)



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル3F
TEL 03-3295-0755 FAX 03-3295-0767
E-mail : tks@typack.co.jp



公益社団法人 日本証券アナリスト協会

国際第一部長 森 直子 (30期)
日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1(東京証券取引所ビル5階)
TEL 03-3666-1504 FAX 03-3666-5843
E-mail : n-mori@saa.or.jp



ラブセービング協会 理事長
マスターラブセーバー 恋愛学講師
アレックス小倉 (30期)

Mobile : 080-5382-6919
E-mail : alex@lovesaving.jp.com
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町13-1-402号 (南へイズ内)
TEL 03-3496-0940 FAX 03-3496-0792



取締役 専務執行役員
名古屋工業大学情報工学科非常勤講師
能登原 伸二 (30期)

株式会社 アイ・ティ・イノベーション

<本社> 〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号リバー・ジュニアビル5階
TEL 03-5783-2811 FAX 03-5783-2813 e-mail: notoharas@it-innovation.co.jp

「東京倉敷ふるさと会」をよろしく願います

倉敷市東京事務所

所長 三宅 靖広 (30期)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目4番7号
(全国都市会館5階)
TEL (03)3263-2686 FAX (03)3230-2355
E-mail: tokyokc-2@city.kurashiki.okayama.jp

EICHI Patent & Trademark Corp.

副所長 弁理士 小橋 立昌 (30期)

特許業務法人 英知国際特許事務所
〒112-0011 東京都文京区千石4丁目45番13号
TEL 03-3946-0531 FAX 03-3946-4340
E-mail : kobashi@eichi-patent.jp



株式会社 プロ家庭教師さいたま

専務取締役 日岡 秀和 (30期)

〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-40
TEL 048-654-0506 FAX 048-654-0569
E-mail : hioka@pt-saitama.com

診療放射線技師

長尾 一 (31期)

〒336-0035 埼玉県さいたま市南区松本4-14-11-103
TEL : 048-863-7232

眉・まつげ・アイライン
な・ちゅ・ら・る

藤田 清美 (35期)

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-10-4-202
TEL&FAX : 03-3309-4769
E-mail : natural.kiyomi@nifty.ne.jp
<http://na-tu-ra-l.com/>

平成24年度 東京青陵会幹事 (35期)

八木 勝彦 建部 昌孝

佐藤 卓也 植田 晴子

妹尾 浩司 富井 陽子



お庭のことなら何でもご相談下さい!

なぎら

代表 奈喜良 忠浩 (38期)

一級造園施工管理技士
一級造園技能士

〒157-0068 東京都世田谷区宇奈根3-3-23 フラットリプレットC-101
TEL/FAX 03-6805-8576 携帯 090-9149-7077
携帯メール zizu08nagyt@vodafone.ne.jp

東京青陵会

平成25年6月22日(土)
明治記念館「ふじの間」
午後6時から

大学生歓迎!!
参加費は3,000円です。
ただし、平成25年度入学生は1,000円です。

記念写真 即日持ち帰り

25期 金 政 真 人

ご多用にも関わらず恩師の古畑和三先生（昭和53年～62年、保体）、今年4月に青陵高校に赴任されました三谷昌士教頭、同窓会長の加川英郎さん（4期）、同副会長の井上善弘さん（21期）、同窓会事務局の船越勝先生（28期）の来賓を含めて、例年よりやや少ない総勢60人の出席をいただきました。

本年度の総会は15期、25期、35期が当番幹事として担当しました。昨年9月の最初の会合から準備が始まりました。近畿青陵会の役員の方の援助や協力も得ながら案内状を郵送、会場の事前準備を35期の方にお願ひしました。

今回もイベント（有名人を招く—33期水道橋博士への講演依頼など）を考えましたが、当番幹事が話し合った結果、「シンプルな同窓会」ということで特にイベントを設けず、来賓の挨拶と歓談を中心に進めていくことにしました。

当番幹事は、当日早くに集合して配布物を封筒に入れる作業をしたり、名札を並べる作業をしたりして、ばたばたと大変でしたが受付時間に何とか間に合うことができました。

例年通り、参加者の記念写真を撮ることから始まります。これは参加者に郵送する手間を省くために当日お持ち帰りしていただくためです。総会前にも、35期のカメラマン2人は各テーブルを回ってスナップ写真を撮り、撮影が終わると近くの写真屋に持ち込み、散会時に皆様に配布することができました。

記念写真撮影後は、近畿青陵会会長の挨拶（14期大水さん）、総会（会計報告・承認、役員改選）、そして懇親会へと続きます。今回の進行は25期吉田さんの司会で進められました。

懇親会では、三谷教頭、加川会長から挨拶をいただき、副会長の井上さんの乾杯で食事や歓談が始まりました。挨拶の途中で、事務局の船越先生から青陵同窓会、特

に「同窓会だより」についてお話をいただきました。

歓談中には恩師の古畑先生からお言葉を頂戴しました。さらに各期から代表1人に一言ずつお話をさせていただきました。

12時に始まった会は挨拶、食事、歓談などであつという間に閉会を迎えました。毎回のことなのでしょうが、世代を超えた同窓生の楽しい会話や近い年代同士の当時は懐かしむ会話など、近畿で生活をしていても高校時代の楽しい思い出や故郷の情景にしばし思いをはせることができ、貴重なひと時を過ごすことができました。

終わりは全員による校歌斉唱です。そして、当番幹事を代表して私がお礼の言葉を述べ、近畿青陵会副会長松野さん（16期）による挨拶で閉会しました。

遠路はるばるお越しいただいた恩師の先生、来賓の方々には、幹事一同より感謝申し上げます。ご協力いただきました当番幹事の皆様、ありがとうございました。

次年度の近畿青陵会は、平成25年5月26日（日）に同じ太閤園で開催の予定です。ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

今回36期以降の方の参加がありませんでした。来年は若い方々のご出席をお待ちしております。



勢ぞろいした近畿青陵会の皆さん

剣術「中條流」の正史残したい

2期 山 寄 正 美



私は現在80歳です。そろそろ81歳になろうとしています。人間の生存期間が最近長期化していますが、その老後をいかに過ごすか？ 人それぞれに異なる生活を送ることになるでしょう。

私には一つの運命の課題を背負っています。それはわが家に伝来する剣術「平法中條流」の歴史を明確に書き残すことです。中條流は室町初期、中條長秀によって創始された剣術の流儀です。

わが国の剣術をはじめとする武術の盛衰は、多くの小説家によって取り上げられていますが必ずしも実態を映し出しているとはいえ、創作の部分がかなり見られます。

しかし、中條流相伝のわが宗家には正式な「山寄家文書」が残っており、この文書をひもといて正確な中條流の歴史を残したいと思っています。

中條流は「防御の剣」であり、自ら抜刀はしません。江戸時代、將軍家との関わりもあり、かなり存在感があったようです。家老として他藩と交渉。中條流の格式を家老の記録に残しています。明治になっても一族の道場で鍛錬に励んでいました。

傘寿の今後は中條流の歴史をまとめることが目標です。中條流宗家に生まれて良かったと感謝する毎日です。
□…郷土史家、京都市在住。

九大1年生3人初参加

20期 加藤 榮一

同窓会の皆様には常日頃より同窓会活動にご助力いただき、感謝に堪えません。

今年の九州青陵会総会は、例年通り10月の第2金曜日に行いました。今回は、メンバーのドタキャン、いつも出席されていた方々の不参加などがありました。逆に初参加が九大生の3人を含め6人あり、出席者は18人でした。学生の参加が増えたのは、今年から無料にした効果だろうと思っています。

同窓会本部からは加川会長、三谷教頭、船越先生の3人がお越しくださいました。

小人数なので着席形式で行いました。九州青陵会の溝手会長(8期)の挨拶で始まり、本部より加川会長のご挨拶と会の活動報告を拝聴し、四角先輩(8期)の乾杯の音頭でスタートしました。

和気あいあいとは進行。倉敷市街の町並みやどこそこどんな店があり食べに行ったりとか、部活など思い出話、同窓会の活動状況、九州ではどうだといった話題で盛り上がりました。三谷教頭(中山校長代理)の青陵高校の現状(進学)などのお話を拝聴しつつ、和やかなムードが最後まで会場全体を包んでいました。

九大生は全員今年入学の1年生です。子供というより孫に近いOBもいる中ですが、緊張することもなく入学動機や博多(博多は大都会、大学はド田舎)の印象などを話していました。楽しく過ごしてもらえたようです。

その後、初参加者からの挨拶、その他のメンバーからの近況報告があり、あっという間に時は過ぎ来年の再会を期し散会しました。



出席した九州青陵会の方々

終了後、加川会長、溝手会長ほか有志の面々が学生を伴い、豚骨ラーメンを食べに博多の街へ繰り出しました。

来年の開催には、今年より参加人数を増やすよう活動していきます。どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご一報いただければと思います。

□…13面に関連記事。

【連絡先】〒811-3223 福岡県福津市光陽台2-12-8
加藤 榮一
電話&FAX 0940(43)5388 携帯電話 090-1341-6566
メールアドレス eys_k2128@yahoo.co.jp

九州青陵会 平成25年10月11日(金)
福岡・西鉄グランドホテル 午後6時半から
大学生歓迎!!大学生の方は会費が無料です。

<p>大牟田記念病院 理事長 溝手 博 義 (8期) (九州青陵会 会長)</p>	<p>四 角 満 春 (8期)</p>	<p>広告・宣伝・企画 (株)協同プライニング 福岡営業所 代表取締役 桐 野 紘 武 (13期)</p>
<p>平 松 徹 夫 (18期)</p>	<p>(有)ひびき調剤薬局 名 倉 万寿夫 (19期)</p>	<p>西日本鉄道(株) C S R推進本部 経営管理部 部 長 加 藤 榮 一 (20期)</p>
<p>アグチ興産 代表 田 中 進 (20期)</p>	<p>九州青陵会 副会長 平 野 善次郎 (20期)</p>	<p>村岡屋ギャラリー ギャラリーコーディネーター 喜多村 真 美 (26期) (旧姓 貝原)</p>

部活OB会だより

青陵剣友会

50人集い創部60年祝う 初の式典、記念誌発刊

剣道部創部60周年を祝う記念式典（青陵剣友会主催）が平成24年10月14日、母校の武道場で開かれ、剣道部のOB組織・青陵剣友会会員や現役部員、来賓の校長や同窓会長ら約50人が出席しました。

挨拶に立った大石純正剣友会名誉会長（4期）が「最初私ともう一人、たった2人で始めました。それから60年なんですね。私個人は今居合を精進していますが、現役諸君は（剣道を）一番に近いところを目指して頑張ってください。お力添えをお願いします」と近況を交えて話し、野山義兼会長（7期）は剣道部の歴

式典は青陵高校武道場にて開かれた記念



史を振り返りながら「創部して数年間は全国大会でも3位以内に入るなどトップクラスの成績を挙げていました。顧問は現役に『剣道とは何か』をしっかりと教え、再びかつてのような活躍をしてほしいと願っています」と後輩を激励しました。

続いて来賓祝辞。山根庸宏岡山県剣道連盟会長代理、中山弘輝校長、加川英郎同窓会長（4期）からそれぞれお祝いの言葉を頂

きました。剣友会員の渡辺英気岡山県議会議員（26期）は「剣道部のOBとしてこのような式典でご挨拶ができ感謝しています」、さらに同じく雨宮紘一倉敷市議会議員（11期）は「私が剣道部の歴史の中でどの位置にいるのか、この式典で初めて知りました」と、自らの思いを込めて感慨深くスピーチしていました。

式典に合わせて発刊した「剣道部創部60周年記念誌」を、中心になってまとめた岩田正晴幹事（18期）が紹介、内容を説明しました。

次いで、校歌、青陵名物の陵歌「桜花爛漫」を歌い、最後に全員で記念写真を撮影しました。

交流会に移り、剣道の型の緊迫した演武が披露されました。来賓の山根庸宏教士八段、ゲストの馬場健治教士七段が真剣を持って磨き抜かれた熟練の技を次々繰り出しました。出席者は固唾を呑んで見守りました。大石名誉会長の道場生の居合の演武もあり、現役剣道部員が稽古をして締めくくりました。

夕方、倉敷国際ホテルで懇親会。各年代の思い出話で盛り上がり、80周年、100周年に向けた更なる飛躍を誓い合いました。

剣道部の記念式典、記念誌発刊はともに初めてのことです。



剣道部は昭和27年、大石名誉会長らを中心に創部。当初は県大会、全国大会とも上位の成績を納め、全国大会準優勝の実績もあります。16期の田淵和江さんは卒業後ですが、全日本女子剣道大会2度優勝という快挙を遂げています。現役部員13人、剣友会員は400人です。

「剣道部創部60周年記念誌」はA4判、38頁。山本晋一郎岡山県剣道連盟会長、中山校長の祝辞、大石名誉会長らのごあいさつなどに続いて、60年の部の歩みを1年ごとに成績と競技や表彰状の写真に掲載。創部の4期から63期（平成24年卒業）までの歴代部員の卒業写真などで簡潔にまとめています。



出来上がった「剣道部創部60周年記念誌」

サッカー部
青蹴会

正月OB戦に集合！

青蹴会世話人 江本幸司（45期）

サッカー部OB会では、「青蹴会」（せいしゅukai）と名付け、毎年お正月休みの1月3日か4日に青陵高校グラウンドでOB戦を行っています。グラウンドでプレーすると、数年前（数十年前？）、高校時代に練習した思い出が甦って懐かしい気持ちになります。一瞬ですが10代に戻れます。

それぞれチームメートは社会人になり、各方面で活躍しています。近況を伝え合えるのもOB戦ならではのです。公務員、会社員、中には経営者など様々な顔ぶれになります。

30代、40代になっても現役で社会人サッカーを続けている人もいます。高校時代にできなかったプレーを、このOB戦で披露することもできます。

現役生との関わりもありました。平成21年に県大会3位になった現役生に、練習用のピンス（シャツ）を提供しました。



平成24年正月に初蹴りを楽しんだ青蹴会のメンバーは青陵高校グラウンド

OB戦はまだ認知度が低いのでこれから広報に努め、参加人数を増やしていきたいと思っています。

ホームページは、下記アドレスの <http://sports.geocities.jp/seiryoseisyukai/> か、「倉敷青陵高校サッカー部OB」で検索してください。たくさんのOBの参加をお待ちしております。



飾って

毎週季節の花を生けて3年

21期 ^{かねみつ}金光 日出子さん (旧姓 ^{みしま}見島、花名玉芯)

青陵高校の玄関ロビーに生け花を飾る
金光さん



平成24年10月下旬のある日。かれんな紫のリンドウと白いウインターコスモスでコントラストを付け、周りを先週の花材・コリヤナギを今週はオブジェに活用します。一対の黄色い円い変形花器に見事な生け花が出来上がりました。慣れた手つき。この間わずか7、8分。テーマは「晩秋」です。

青陵高校の玄関ロビー。事務室前のカウンターに休暇中を除く毎週、季節の生け花が飾られるようになって3年目になります。生け花奉仕を続けているのは、この道40年の池坊華道教授金光玉芯さんです。

「池坊全国華道展コンクールで賞をいただいたことをきっかけに、生け花で何か社会にお役に立てないだろうかと考え、母校をお願いしたんです。おかげ様で私も快い緊張感で毎週お花を生けさせていただいています。すごくありがたいなあと思っているんですよ」と奉仕のきっかけを明かしてくれました。

中山弘輝校長は「私も絵や花に関心があり、お申し出を喜んでお受けしました。玄関の雰囲気が増えますよ。生徒も興味深く眺めてますね」と感謝しきりです。

金光さんは「花材は夫が家の庭と畑で育ててくれているものをメインに、時折、花屋さんの花を添えています。花器も高価なものは差し控えます。何かあった場合に学校側に迷惑がかかりますから」と話し、「今や世界に羽ばたく青陵生がね、『ああ、おばさんがお花生けてたね』と、どこかで何かの瞬間に思い出してくれればそれでいいんです」と、終始控えめに話していました。ご苦労さまです。(倉敷市在住)

躍動する女性たち

作品が大原美術館「買い上げ」

描いて

53期 松井えり奈さん (雅号えり菜)



記念会館玄関ロビーに飾られている遠藤さん寄贈の日本画「しだれ桜」

画面の真ん中にどかんと、鼻の穴をこちらに向けて眠る女性の顔。頭上から日の出、周りには豚の縫いぐるみ、雷神、見慣れない動物、さらに人間の顔も…。

150号の大作。現実世界にとらわれない特異な表現です。このでっかい顔、実は自画像で作品名も「サンライズえり菜」。画業十余年。松井さんは自分の顔をモチーフにしています。この力作を含む3点が大原美術館「買い上げ」となりました。

平成24年1月から4月まで同美術館で開かれた「AM倉敷vol.9」という若手作家の展覧会の出品作品です。その20点の中の1点です。

同美術館広報担当の藤田文香さんは「優れた作品であり松井さんの新作、それに絵の中に当館所蔵の絵にゆかりのある物が描かれていたことが買い上げの決め手でした」と言います。

作品の同美術館買い上げはそんなに稀ではないそうですが、本人にとっては名誉であり励みになることでしょう。現在は分館地下展示室に展示され、鑑賞者の目を引いています。

松井さんは東京を本拠地にして、平成25年4月まではドイツのベルリンで創作活動をしています。さらなるご活躍をお祈りします。(倉敷市出身、東京在住)

□…松井さんの寄稿が青陵高校創立100周年記念誌83頁に掲載されています。



大原美術館買い上げとなった松井さんの作品
「サンライズえり菜」同美術館所蔵

贈って

100号の日本画「しだれ桜」

倉女39期 遠藤友子さん (旧姓 三宅)

キャンパス全体を覆うように咲く見事なしだれ桜。これを陵歌にもある桜花爛漫というのでしょうか。校門脇の青陵創立80周年記念会館の玄関ロビーを飾る日本画の100号の大作「しだれ桜」。訪れた卒業生らの目を引き、気持ちをもませてくれます。

平成24年が明けたころ、力作を母校に寄贈してくれたのが遠藤友子さんです。この道40年の日本画家。モチーフは桜やボタン、富士山が中心です。自宅の窓を開ければ名峰富士山。これ以上ないモチーフです。毎日眺めて暮らしておられます。

41歳の時、成人学校で日本画を習ったのがきっかけでした。次の年には早くも静岡県富士市市長賞受賞、上位入選を重ね招待作家となりました。同県日本画連盟賞、日本画府展日府賞、愛知県知事賞など次々受賞、キャリアを重ねました。現在は富士市美術協会顧問。かつては日本画府常任理事・審査委員、静岡県日本画連盟理事などを務めておられました。

遠藤さんは「故郷を離れて60年。年々故郷が恋しくなります。以前から故郷に自分の足跡を残したい—という気持ちがありました。そのころ、知り合いを通じて母校から寄贈のお話があり、喜んでお引き受けしました。倉女時代の印象は深く、母校のお役に立てれば幸せです」と話してくださいました。

ありがとうございました。ご健勝をお祈りします。

(倉敷市出身、静岡県富士市在住)



生徒の活動

生徒指導課長 広瀬 洋介

青陵祭

文化・体育祭で総合V競う

第50回青陵祭「Step by Step」50歩目へ踏み出そう」が9月5～7日の日程で開催されました。

本年度から文化・体育祭のすべてを総合した表彰形式に変更し、1年（8クラス）、2年（7クラス）、3年（8クラス）を縦割りに8つのブロックで青陵祭総合優勝を競いました。また、今年導入したブロックTシャツもカラフルなもので、青陵祭を大いに盛り上げました。

騎馬戦でヒートアップする体育祭



文化祭の部は、ステージ発表、クラス展示、野外ライブ、模擬店など多彩なイベントを展開しました。生徒たちは限られた準備期間の中で素晴らしいものを作り上げました。

体育祭の部は競技の部、ブロック演技の部、アーチの部、行進・応援の部で競い合いました。ブロック演技指導、アーチ（看板）作成、各種目の練習、行進練習など、計画・立案・準備・練習のすべてにおいて3年生がリーダーシップを発揮しました。上級生の指導のもと、全員が一致団結して取り組む姿は今も昔も変わらない「良き伝統・青陵魂」の一つです。

青陵祭は生徒たちにとって最大のイベントであり、友との絆を深める絶好の機会となっています。

部活動

加入率は80%を超える

青陵高校のモットーに「文武不岐」という言葉があります。青陵

は県内屈指の普通科進学校にあって、全国大会・中国大会に県代表として多くの部が出場するなど部活動においても頑張っています。

部活動加入率は本年度は全校生徒の80%を超え、生徒たちは「文武不岐」の実現に向けて高い意識と目標を抱いて日々精進しています。

平成24年度（10月11日現在）の主な部活動の成績は次の通りです。

【全国大会出場】	
●バスケットボール部	男子 2回戦進出（インターハイ）
●ハンドボール部	男子 国体選抜へ1人参加（国体）
●水泳部	男子 1人（インターハイ・国体） （IH=100、200 ^混 背泳ぎ／国体=200 ^混 背泳ぎ 50 ^混 自由型 リレー）
●棋道部	女子 1人
●滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	岡山県代表 男子1人
【中国大会出場】	
●バスケットボール部（男子）	
●剣道部（女子個人）	
●陸上競技部（男女）	
●ハンドボール部（男子）	
●テニス部（男子）	
●水泳部（男子）	

青陵の目指すもの

たくましく、しなやかに成長

「生徒ひとり一人が青陵での高校生活を謳歌する。高校生活を通して、たくましく、しなやかにバランスのとれた成長を遂げる」ことを重点目標に挙げて教員も鋭意努力しています。

私の青陵時代

応援団、仮装…青陵祭を謳歌

31期 朝田 恵利

私がこういうところ（このコーナー）に登場させてもらっているんですかねえ？ 当時は勉強のほうもキャラも目立たなくてね。いや、ホントですよ。

でも一番の思い出は毎年秋の青陵祭ですね。一日か二日、文化祭をした後、最終日に運動会がありました。そのころは普通科と家政科合わせて1学年10クラス・440人ぐらいいてね、各学年縦割りに10ブロック作ります。ブロック別に応援合戦をし、得点を競います。今でも同じだと思いますが、青陵の長年の伝統でしょうね。

1年生の時は応援席のバックに立てるジャンボ看板を一生懸命作りました。テーマは当時はやっていた「宇宙戦艦ヤマト」。みんなで知恵を出し合い工夫したのでなかなかいい出来栄でしたよ。アルバムをめくれば写真が出てくるかもしれません。

2年生では応援団に加わりました。みんなで衣装を作り練習

もかなりしたので、本番は熱のこもった応援ができたと思います。特に盛り上がったのが、堀内孝雄の「君のひとみは10000ボルト」を40人ぐらいで踊った時ですねえ。このパフォーマンスが一番楽しかったかな。秋になると今でもこの曲を思い出します。

3年生は仮装グループに入り「七福神」のウサギさんになりました。

よく覚えているでしょう。部活動をやってなかったから、その思い出のないぶん青陵祭のことは鮮明なんですよ。

10歳からピアノを習っていたので短大の音楽科に進み、ピアノを専攻しました。

現在は司会業をしています。同期の妹尾（旧姓 小郷）美穂子さん＝本紙3面＝とは、同じようなお仕事なので時々会ってお話するんですよ。

先輩、後輩の皆さんとは、どこかでお会いできるかもしれません。その時は声を掛けてくださいね。

□…司会のほかりポーター、パーソナリティー、結婚式の披露宴奏者。二人の娘さんは社会人と大学生。倉敷市在住。





進路指導

進路指導課長 平賀 徹

OG医師の講演聴く —土曜FW講座—

進路指導課では、「きめ細やかで丁寧な学習指導と継続的で多様な学習活動を通じて、基礎学力の充実と個性の伸長を図ること」により「自ら学び自ら考えて行動し、生涯を通じて学び続けること」のできる生徒を育て、やがて彼らが「国際社会でリーダーとして活躍できる人材」となっていくことを目指しています。



リニューアルした進路学習室

具体的な取り組みとして、新入生が新しい学校生活に慣れ、スムーズに青陵生として充実した高校生活が送れるように学習面・生活面でサポートする「ビジニングセミナー」／企業、研究所、大学などを訪問し、その活動の様子を見学したり体験したりしながら、将来就きたい職業や学びたい学部学科について研究する「フューチャーウォッチング」／毎週土曜日に開講している「土曜*FW講座」—があります。

FW講座では、国数英の基本講座から発展レベルまで学べる補習的な講座や、理科の実験など多彩な講座を準備しています。この「土曜FW講座」の中で、同窓生による講演会を2年前から行っており、本年度は岡山大学医学部の関典子先生（36期）を講師にお招きし、『医者になるということ—倉敷青陵高校の後輩たちへ—』というテーマで生徒たちにお話をいただきました。

また、年間5回の生徒面接を通し、一人ひとりの生徒に寄り添い励ましながらやる気を引き出しています。大規模改修工事に伴いリニューアルした進路学習室、進路閲覧室では、早朝から夜の7時まで多数の生徒が学習に取り組んでいます。このような地道な取り組みの結果が近年の進学実績につながっているものと思います。

*FW講座とは「Forward（一歩前進めざし）・Free（自由意志で）・Favorite（好きな講座に）出るWeekend（週末）」の意味で、青陵生の期待に応える講座をほぼ毎週実施している。

合格力 全国公立10位

昨年度「週刊ダイヤモンド」5月号に登場

昨年度の実績は経済誌「週刊ダイヤモンド」5月号の『大学合格力』による全国高校ランキングの特集で全国22位、公立高校では全国10位にランク付けされ、注目を集めました。

23年度国公立246人 岡山大学合格78人 4年連続全国1

今春の進学状況は「平成23年度 主要大学合格状況」=別表=の通りです。国公立大学合格者数は246人。岡山大学合格者数は78人で、4年連続全国トップの成績を残すことができました。これも日々の授業や度々の個人面接などを通じて、生徒・保護者と教員の間信頼関係が出来上がっていたからこそ実現できたものです。最後まで粘り強く努力を続ける生徒たちの姿勢は周囲に感動とやる気を起こさせてくれます。

生徒たちは仲間と共に学び、切磋琢磨し合える友人の存在が心の支えとなって頑張れたと言います。この校風・伝統が上級生から下級生に伝えられていることが青陵高校の強みであると実感しています。

教育を取り巻く環境は日々変化しています。青陵高校の学区でも私立小中学校への流出、県立中高一貫校の存在など生徒募集に関する厳しい状況が目の前にあります。青陵高校の歴史と伝統を礎に新しい時代の進路指導を模索しつつ、社会のリーダーとして活躍できる人材を輩出していく努力を続けていくことが、私どもの使命であると思っています。

同窓生の皆様には、今後とも後輩たちへの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年度主要大学合格状況

難関国立大学	人数
北海道大	2
東北大	1
東京大	3
東京工業大	1
一橋大	1
名古屋大	4
京都大	8
大阪大	5
神戸大	11
九州大	11
合計	47

国公立医歯薬系	人数
医学部	4
歯学部	4
薬学部	7
合計	15

国公立大学	人数
上記難関大	47
筑波大	2
お茶の水女子大	1
東京学芸大	1
横浜国立大	1
京都工芸繊維大	2
奈良女子大	1
鳥取大	2
島根大	3
岡山大	78
広島大	11
山口大	6
徳島大	6
香川大	15
愛媛大	10
高知大	4
大阪市立大	6
大阪府立大	4
岡山県立大	1
神戸市外大	2
その他の大学	43
合計	246

主な私立大学	人数
自治医科大	2
国際基督教大	1
東京理科大	8
明治大	7
中央大	5
早稲田大	16
慶応義塾大	10
同志社大	30
立命館大	46
関西大	14
関西学院大	17
清心女子大	39
川崎医療福祉大	19
合計	214



青陵高校に対するイメージは、青陵高校が目指すものとは—。在校生と卒業生による座談会が平成24年9月15日、青陵創立80年記念会館で開かれ、母校への率直な思いを語り合いました。その中で、勉強と部活動の両立を図り、「青陵祭」にエネルギーをぶつけるという「青陵生像」が浮かび上がり、伝統を引き継いでいこうという声が出ました。男女7人による座談会での意見交換を紹介します。(聞き手は生田司・主幹教諭)

出席者

〔卒業生〕

宮原 克徳 (62期・岡山大学医学部1年)
仁科 興一 (63期・山口大学経済学部1年)
伊東 諒 (63期・岡山大学経済学部1年)
谷田紗也加 (63期・広島大学文学部1年)

〔在校生〕

岡 健太 (生徒会会長・2年)
黒瀬 道聖 (生徒会副会長・1年)
芝原 矢雲 (生徒会役員・2年) (敬称略)

「勉強ばかり」…青陵祭で一変

—まず、青陵高校に対するイメージが、入学前と入学後でどのように変わったか話してください。

黒瀬 青陵高校は難関で、正直、勉強についていけるかどうか心配でした。入学後は部活動や生徒会など、頑張れば両立できることが分かりました。

宮原 入学前はまじめな人が多いというイメージでしたが、入学後は気の合う友達がたくさんでき、3年間楽しく過ごせました。行事も楽しめました。

谷田 高校入試のとき、青陵か倉敷南かで迷いました。青陵は、やはり勉強のイメージがありましたが、入学後は青陵祭などで予想以上に盛り上がり、勉強だけじゃないという雰囲気が伝わってきました。

伊東 確かに勉強のイメージはありましたが、青陵祭とか大変盛り上がり、楽しくてずっと青陵生でいたいと思いました。

—入る前は勉強ばかりのイメージがあったが、入学してみると行事も盛り上がり、楽しかったという声が卒業生から出ました。在校生の皆さんはそれを聞いてどうですか。

岡 青陵に来て正解だと思っています。青陵祭もそうですが、先生の理解があり、生徒に任せてやらせてくれるところにやりがいがあります。
黒瀬 生徒会や部活動など自分のやりたいことができ、青陵に来て良かったと思います。

芝原 勉強だけ、というイメージがありましたが、青陵祭など行事の盛り上がりがすごく、さらに終わったあとの切り替えがすごいと感じます。

岡 青陵祭のあと、ぐっと急に成績の伸びる人がいます。切り替えができ、メリハリを付けられるのがいいのかなと思います。

卒業生一同 “青陵カーブ”だね。

—卒業生のみんなも青陵カーブを描けたのでしょうか。

谷田 放課後にクラスみんなで集まって勉強したりしていました。
—受験は団体戦ということで、クラス一丸となって頑張ったということですね。ところで、勉強だけのイメージっていうのは払拭できないものですかね。中学生がもしそんなイメージを持っているとしたら、実態とは違っていますよね。

岡 オープンスクールで、楽しげなビデオに力を入れており、できるだけ気さくに話しかけてあげるようにしています。ただ、進学校であるから仕方がない部分もあるかな、と思います。

宮原 勉強しようという高い意識を持った人が集まった方がいいのでは、と思います。

岡 持っているエネルギーが違うような気がします。

部活動やる人は効率的に勉強

—卒業生の皆さんに青陵高校の思い出を語ってもらいたいと思います。

仁科 やはり青陵祭ですね。クラスみんなで協力してブロック演技を成功させました。

伊東 放課後にみんなで毎日7時まで目標に向かって勉強したことが思い出に残っています。

谷田 朝、先生に世界史の講座を開いてもらい、はじめは3、4人だっ

たのが15人ぐらいになって勉強しました。

宮原 授業が楽しかったですね。放課後に英語の勉強をしたりしました先生が生徒のために一生懸命やってくれたことが一番の思い出です。
—授業が楽しめたということは教員にとって非常にうれしいことです。師弟が一体となって邁進していくということですね。続いて、在校生に青陵高校をこれからどんな学校にしていきたいのかを語ってもらいましょう。

岡 今年から青陵祭でブロックごとにTシャツを導入しました。学校全体の一体感を生み出すのに効果があったと思います。青陵祭を盛り上げるということに全力を注いでいます。

芝原 先輩から受け継いだ伝統を残したいと思っています。一方で、勉強面や生活面でややだれている人も目立ち、あいさつやごみ拾いといった身近なことから直していきたいと思います。

黒瀬 勉強をやるために、という理由で部活をやめる人が多いのですが、勉強と部活は両立できるという意識を広げたいと思います。

—部活と勉強の両立は永遠のテーマでもありますね。ただ、部活に取り組む人にはエネルギーがあり、最終的に受験を乗り越える力になっています。

伊東 部活をやっている人は、時間の使い方がうまいですね。

谷田 効率的に勉強することにもつながります。

岡 勉強ができる人は部活やってもやってもなくても関係ないかなと思います。自分をコントロールする力がないなら、部活に入って身に付けるべきではないでしょうか。



熱心に意見交換した在校生と卒業生

「自由な校風、精神残そう

—これからの青陵高校が目指すものとは何でしょうか。

黒瀬 最近、自転車置き場にごみが落ちていたことがありました。ということから直していきたいと思っています。服装の乱れも気になりますが、自由な校風ということで何でも自由と思い込んでいるのではないのでしょうか。

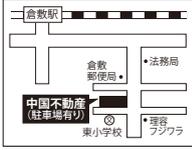
—かつて、「遊びの青陵」といわれたこともありましたが、生徒の主体性を生かすいいイメージとして、この言葉を再評価したいと考えます。自由な校風というのをはき違えているところは気になりますが、「遊びの青陵」という精神は残してほしいですね。

宮原 メリハリをつけること、それと、あいさつがきちんとできることが大事だと思います。

—青陵祭では、ブロックTシャツの導入という一体感を持たせる改革がありました。少しずつ変わっているのかな、と感じます。

岡 青陵祭は今年から文化の部と体育の部を合わせて総合優勝を決めるようになりました。1、2年生の展示や劇にも得点がつくため、3年生が1、2年生のために時間を作るようになり、全体的に充実した内容になったと思います。

伊東 エンディングセレモニーはいいですね。二日間を振り返る映像に当日までの写真が入っていて、生徒会の仕事の速さに感動しました。
—これからも先輩・後輩の関係は続いていきます。よろしく願います。今日はありがとうございました。

<p>焼肉 万 水</p> <p>木村 義 広 (11期)</p> <p>店舗 倉敷市鶴形1丁目4-4-108 倉敷デパート内 TEL 425-6424 自宅 倉敷市幸町4番40号 TEL 421-2889</p>	<p>記念品・販促品・贈答品・土産品・卸販売の御用命は</p> <p>興和観光物産(有)</p> <p>代表取締役 植木 巍 (11期)</p> <p>倉敷市大島7-17 TEL (086)422-6639 FAX (086)421-0099</p>	<p> 株式会社 ゼベーン</p> <p>会長 雨宮 紘一 (11期)</p> <p>〒712-8051 倉敷市中畝4丁目2番1号 電話 (086)456-3636(代) FAX (086)456-1010</p> <p>・損害保険 東京海上日動火災保険代理店 ・生命保険 東京海上あんしん生命代理店 ネットライフ・アリコ代理店 ・宅地建物取引 岡山県知事(3)第2931号</p>
<p>土地・建物・売買・仲介 不動産についてのご相談は……</p> <p>中国不動産 合資会社</p> <p>三宅 信行 (11期)</p> <p>倉敷市鶴形1丁目6番18号 (倉敷郵便局南100m) TEL (086)421-6800(代) FAX (086)421-6808</p> 	<p>小寺達雄税理士事務所</p> <p>小寺 三喜子 (12期)</p> <p>倉敷市幸町15-26 ☎086-424-1155</p>	<p>西阿知石油株式会社</p> <p>代表取締役 中 桐 泰 (12期)</p> <p>倉敷市西阿知町1047 ☎086-465-2242</p>
<p>(有)マク口建築設計</p> <p>代表取締役 中 原 猛 雄 (12期)</p> <p>岡山市大元上町7-14 ☎086-244-4338</p>	<p>株式会社 都市建築総合設計</p> <p>代表取締役 稲 葉 忠 一 (12期)</p> <p>倉敷市鶴形1-13-30 ☎086-434-0012</p>	<p>水質浄化装置 (環境省承認)</p> <p>株式会社 工 力 口 一</p> <p>代表取締役 妹 尾 全 郎 (12期)</p> <p>倉敷市北浜町1-29-203 ☎086-422-8528</p>
<p>株式会社 丸 徳 企 業</p> <p>代表取締役 齊 藤 靱 弘 (12期)</p> <p>倉敷市鶴形2-2-18 ☎086-422-1256</p>	<p>株式会社 武 部 不 動 産</p> <p>代表取締役 武 部 俊 一 (12期)</p> <p>倉敷市阿知1丁目6-3 ☎086-424-3457</p>	<p>武部不動産</p> <p>武 部 洋 治 (15期)</p>
<p> Colorth <small>カラーズ</small></p> <p>コーディネーター 長 山 滋 生 (21期)</p> <p>株式会社 Colorth 〒710-0055 倉敷市阿知1丁目7-2-803 倉敷駅西ビル8F くらしぎベンチャーオフィス2号室</p>	<p>株式会社いのうえ</p> <p>代表取締役 副社長 井 上 善 弘 (21期)</p>	<p>事務所 福山市本町4-13 TEL.084-925-2222 FAX.084-931-3666 E-mail : takebe@chive.ocn.ne.jp</p>
<p>ほうりん</p> <p>代表取締役社長 井 上 善 弘 (21期)</p>	<p> エル・グレコ</p> <p>長 沼 眞 智 子 (21期)</p> <p>〒710-0046 倉敷市中央1-1-11 TEL 086-422-0297 FAX 086-422-0801 E-mail : CZE17013@nifty.com naganuma-m@elgreco.co.jp U R L http://www.elgreco.co.jp</p>	<p> グリーンハウス</p> <p>中 村 泰 典 (21期)</p> <p>倉敷市鶴形1-3-7 10:30~19:30 定休日なし 駐車場あり 086-421-3108</p>
<p>財団法人 関西書芸院 山陽文化会館 関西書道専門学校</p> <p>理事長 澤 田 虚 遊 (眞示) (21期)</p> <p>岡山県都窪郡早島町早島4156 086-482-2421</p>	<p>とよす 歯 科</p> <p>吉 原 史 郎 (31期)</p> <p>倉敷市西田227-6 ☎086-482-1766</p>	<p>(有) 近 本 伸 学 社</p> <p>近 本 充 能 (31期)</p> <p>倉敷市中庄団地8番5号 Tel (086)462-9237 Fax (086)462-7929</p>
<p>ファイナンシャルプランニング 保険セミナー</p> <p>株式会社アルファ インシュアランス</p> <p>代表取締役 細 田 貴 道 (31期) Takamichi Hosoda</p> <p>〒701-0303 岡山県都窪郡早島町前湯704-6 TEL.086-482-2669</p>	<p> Bean's Lab. 建築計画</p> <p>ENDO HIROSHI 代 表 遠 藤 浩 (31期)</p> <p>〒701-0104 倉敷市山地807-25 tel : 086 (462) 8303 e-mail mikichan@mx9.tiki.ne.jp</p>	<p> とびかる</p> <p>藤 原 正 (31期) TADASHI FUJIWARA</p> <p>〒710-0055 倉敷市阿知3丁目12-2(T&Tビル1F) PHONE.(086)426-5725</p>
<p>司法書士法人 備中サポートセンター</p> <p>司法書士 中 桐 達 雄 (32期・旧姓 山田)</p> <p>倉敷市西阿知町西原808-2 代表 086-460-3456</p>	<p>JEWELRY MOI</p> <p>カイトックグループ ジュエリーモア</p> <p>倉敷市笹沖1274-1 ゆめタウン倉敷1F TEL 086-422-1080 他7店舗展開中 HP http://www.j-moi.jp</p>	
<p>ぶれせんてI NOKAWA建築デザイン事務所 http://www.presente.biz</p> <p>井野川 直美 (32期)</p>	<p>未来に輝く ISO 9001 認証取得</p> <p> 中央建設株式会社</p> <p>常務取締役 井 上 泰 弘 (32期)</p> <p>本社 〒710-0046 倉敷市中央1丁目6番24号 電話 086-424-6429 FAX 086-421-9190</p>	<p>進学塾 タイズ</p> <p>入塾生募集中</p> <p>進学塾タイズ 検索 http://www.jyuku-ties.jp/ ●お問い合わせ・お申し込みは ☎086-223-3434</p> <p>株式会社システムタイズ ☎086-242-0011 代表取締役 根木克己 常務取締役 森藤祐史【32期】</p>

水彩画や創作了一ト32点

倉敷で6期生4人が作品展



6期生の有志が水彩画などを展示した作品展

平成24年9月、岡山県内在住の6期生有志が、絵画などを集めた作品展を倉敷公民館（倉敷市本町）で開きました。

出品したのは、米田啓二さん、樫村栄治さん、長谷川勢津子さん、三山悠美さんの4人。それぞれが水彩画や写真、創作アートなどの作品計32点を展示しました。

このうち米田さんは、美観地区や酒津公園、備中国分寺など地元の風景を丁寧に描いた水彩画を多数出展。「子どもの頃から親

しんだ風景を絵に残そうと思い、趣味で取り組みました。同期生の作品も集まり、いい展覧会になりました」と話していました。

受賞おめでとう

書家の澤田さん、2度目の日展特選

書家の澤田虚遊さん（本名 眞示）＝21期＝は、平成24年10月、応募した第44回日展の特選に選ばれました。2年前に続く2度目の快挙となりました。

受賞作は「松毬（まつかさ）」と題する短歌の五行書。「奇をてらわず堂々とした書」と高い評価を受けました。

本紙の表紙「青陵」の揮毫者で、現在、岡山県書道連盟会長を務めています。岡山県早島町在住。

天神窯の岡本さんに倉敷市文化連盟賞

陶芸家の岡本篤さん（13期）は平成24年度の倉敷市文化連盟賞を受賞しました。岡本さんは作陶生活46年になります。父の築いた天神窯（同市羽島）を継ぎ、精進を重ね自らの作風を確立。地域の文化振興に貢献されました。

贈呈式は11月5日、同市役所で行われました。

ご苦労さま

古矢岡山県副知事が退任

岡山県副知事の古矢博通さん（18期）が、平成24年11月12日、県知事交代に伴い任期を残して退任しました。

古矢さんは1971年に県庁入り。農林水産部長、公営企業管理者などを経て2009年4月から石井県政の副知事を務め、岡山県の発展に貢献されました。岡山市在住。

青春の陵に学んだ校友の皆様、日々活躍、ご健勝のこととお慶び申し上げます。年1回の三万余人の唯一の絆「同窓会だより青陵」第44号をお届けします。全員配布を始めて2年目になります。今号は昨年の前号より4増として16冊立てにしました。各ページの記事に見出しを付け、写真をできるだけ大きく扱うなどレイアウトに工夫を凝らし、目立つ紙面展開をしました。カラー面も4あります。内容も充実しています。本部同窓会総会はもちろん、東京、近畿、九州の各支部から活気のある総会のレポートが届きました。さらに、「青陵高校のイメージは？」をテーマに在校生・卒業生座談会も行いました。各コーナーには多彩な卒業生に登場いただき、読みごたえのある記事を満載しました。今年、編集委員を増強、4人のスタッフで奮闘しています。どこにでも手軽に取材に動きます。そこで、次号はあなたの出番かもしれません！（S）

編集後記

同期会(当番期)開催状況

2期

平成24年10月11日(木)
倉敷アイビースクエア
参加人数90名

11期

平成24年8月12日(日)
倉敷アパホテル
参加人数65名(恩師2名)

12期

平成24年8月5日(日)
倉敷アイビースクエア
参加人数44名

21期

平成22年1月3日
倉敷アイビースクエア
参加人数94名(恩師5名)
今後は3～4年ごとに開催予定

31期

平成24年8月5日(日)
「かっくん」ラーメン店
参加人数28名

32期

平成24年8月13日(月)
倉敷アイビースクエア
参加人数138名(恩師9名)

52期

平成25年1月3日(木)
午後6時30分から
倉敷国際ホテル(開催予定)

本部総会

平成25年8月4日(日)
倉敷アイビースクエア
午前10時から
当番期…3と4のつく期と
今年度の卒業生です。

近畿青陵会

平成25年5月26日(日)
大阪・太閤園

60期

平成25年1月3日(木)
午後7時から
ピュアリティまきび
(岡山市北区下石井2-6-41)
JR岡山駅より徒歩7分
会費6,000円(当日ご持参下さい)

岡山県立倉敷青陵高等学校「同窓会だより 青陵」第44号

発行 岡山県立倉敷青陵高等学校同窓会
[事務局] 〒710-0043 岡山県倉敷市羽島1046-2
TEL:086-422-8001 FAX:086-422-8004
e-mail: seiryoo05@pref.okayama.jp
URL: http://www.seiryoo.okayama-c.ed.jp
印刷・デザイン 株式会社サラト 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

同窓会だより ご意見・情報・お問い合わせは同窓会事務局へお気軽にどうぞ。

祝

第50回青陵祭

Step by Step

平成24年9月5～7日

こんにちは！ 真面目に、時に楽しく活動中の青陵高校生徒会執行委員会です。生徒を代表して現在の青陵高校の様子を紹介します。

平成24年9月5～7日、「Step by Step…」をテーマに青陵高校最大の行事、青陵祭が行われました。今年は50回目という記念すべき年。ブロックTシャツの導入やルールの変更など新しく生まれ変わった青陵祭。保護者の方やOB・OGの皆さんをお迎えして楽しい青陵祭となりました。



面白かった青陵新喜劇

文化の部 新喜劇やトリックアート

まず、5、6日の2日間にわたって行われた青陵祭文化の部。初日のステージでは各クラスの発表が行われました。青陵新喜劇やピーターパンなど面白い作品が盛りだくさんでした。

2日目のステージは吹奏楽部の演奏や有志バンド、ダンス部などの発表が行われ、体育館が熱気に包まれました。各クラスの展示では、迷路やトリックアートなどがありました。こちらもまた盛り上がりを見せ、ある展示では行列ができたほどでした。中庭では3年生による模擬店やコーラス部の野外ライブ、先生方のライブなどが行われました。

体育祭の部 踊って走ってブロックTシャツ導入

7日、青陵祭最終日！！ この日は天気恵まれ絶好の体育祭日和となりました。気合十分の行進で始まり、長縄跳びや騎馬戦、20人21脚、部活動対抗リレー、ブロック対抗リレーなどが行われ、大盛り上がりを見せました。毎年恒例のブロック演技では、ストーリー性を取り入れたダンスやプロ顔負けの激しいダンスなど例年以上にクオリティーの高い演技が披露されました。

3日間笑って踊って走って…。思い出がたくさん詰まった青陵祭となりました。青陵祭50周年という節目を迎え、次の新しいステップに向かうことができたと感じます。



「イチッ、ニッ」「イチッ、ニッ」…息を合わせて長縄跳び

SPD 青陵ピカピカ大作戦！

400人参加 校外の道路も

10月16日

10月16日、中間考査明けの恒例行事、SPD「青陵ピカピカ大作戦！」。今年には校内だけでなく校外、近隣の道路も掃除しました。初



力を合わせた成果がこれ！

らい、校内や校外をどろんどろんきれいにしたいと思います。

の校外清掃を含めたSPD！ いろいろ戸惑うこともありましたが、範囲が広がることで、自分たちの通う学校の周辺をきれいにしようという気持ちが一層強くなりました。今回は400人も生徒が参加してくれました。部活動単位でも個人でも全員が協力して作業をすることができました。

これからのSPDも、よりたくさんの方に参加しても



掃除の範囲を広げて初めて校外に進出